

文献情報				
表題・資料名				
傾斜ライシメータを使ったミカンおよび茶園の土壌流出と窒素分流出の測定				
部会	G2	文献ID	R2003	観測ID
				S014
公表年				1996
著者名				
花野義雄, 石原暁, 井田明				
収録雑誌名				
日本土壌肥科学雑誌				
巻号	67(2)	ページ	194-197	
地目				
樹園地(茶)				
地目備考				
茶(さやまかおり、16本/区、1987年3月に2年生苗を植え付け)				
立地				
ライシメーター				
立地備考				
傾斜25度、斜面長3m、幅2m、深さ1.2m~2.4mの傾斜ライシメータ				
栽培方法				
改善				
栽培方法備考				
敷ワラ区(稲ワラ20t/ha/yr)を改善農法とみなした				
施肥量				
窒素				リン
111				>174.56kgP/ha(基肥のみ記載)
施肥特記事項				
乾燥刈草100t/ha、完熟堆肥10t/haに含まれる養分量は不明、CDU100kg/haに含まれる窒素は31%として計算、過リン酸石灰2000kg/haに含まれる全リン酸は20%として計算				
それ以外	褐色森林土	中粗粒褐色森林土	SL	
土壌備考				
褐色森林土(雑木林)の下層土のみを充填(山崎ら1984四国農試報43:38-74より、土壌統群を特定、花崗岩の風化土、土性SL)				
栽培特記事項				
茶(敷ワラ)、香川県の基準施肥量に準じて追肥				
全調査期間	1987/4/1~1988/3/31(1年)	計算対象期間開始年月日	1987/4/1	計算対象期間終了年月日
				1988/3/31
調査頻度				多(週1回未満~月1回以上)
調査期間備考				
毎月末にドラム缶内の表面排水と土壌及び浸透水をサンプリング				
降雨時流出負荷の加味				
有				
降雨時流出負荷備考(具体的な回数など)				
月1回サンプリングだが、全量回収しているので、降雨流出を加味している				
代かき田植え時精密調査				
計算方法				
計算方法	降水		灌漑水	
排出負荷				
TN				
表面排水	暗渠排水	浸透水	Total	
1.1	0	216.6	218	
備考				
全窒素、アンモニア態窒素、硝酸態窒素を分析				
TP				
表面排水	暗渠排水	浸透水	Total	
0	0	0	0	
備考				
SS				
表面排水	暗渠排水	Total		
0	0	0		
備考				
有機物				
種類	表面排水	暗渠排水	浸透水	Total
	0	0	0	0
備考				
単位				
	量/面積	/期間		
kg/ha			年	
計算に用いた具体的日数				
1年			数値のみ(日)	
			366	
備考				
表面排水及び浸透水はいずれも全量貯留して毎月末に回収				

日本環境学会(2013) 非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究
注: データを引用するには必ず元文献をご確認ください。